



水環境のリーダーを目指す！

多摩川“水”大学講座

写真：第6回美しい多摩川フォトコンテスト佳作「苔生す清流」より

本講座では、水の重要性、利用できる水資源、水循環、水質など水に関する知識を総合的に知ることにより、身近な水環境さらに地球環境を考え、保全することをみんなで考えていきます。講座を修了した方は、水環境に関するリーダーになり、各地で活動されることを期待します。

【会 場】公益財団法人とうきゅう環境財団 会議室
(住所：渋谷区渋谷 1-16-14 渋谷地下鉄ビル5階)
地下鉄13番出口直結

【開催日時】第 1 回：平成30年 5月18日 (金) 午後2時～午後4時
第 2 回：平成30年 6月15日 (金) 午後2時～午後4時
第 3 回：平成30年 7月20日 (金) 午後2時～午後4時
第 4 回：平成30年 9月21日 (金) 午後2時～午後4時
第 5 回：平成30年10月19日 (金) 午後2時～午後4時
第 6 回：平成30年11月16日 (金) 午後2時～午後4時

【講 師】小倉 紀雄 氏 (美しい多摩川フォーラム副会長・東京農工大学名誉教授)

【対 象】水環境に関心のある成人で、原則として毎回出席できる方

【定 員】15名 (申し込み先着順)

【申込期間】平成30年5月10日 (木) 締切 (必着)

【申込方法】氏名、住所、電話番号、メールアドレスを明記し、下記へハガキ、メール、FAXのうち、いずれかの方法によりお申し込みください。

【お申込先】美しい多摩川フォーラム事務局「多摩川“水”大学講座係」（担当：黒米）
〒198-8722 青梅市勝沼 3-65（青梅信用金庫 地域貢献部内）
電話：0428-24-5632 Fax：0428-24-4650
E-mail：forum@tama-river.jp

【受講料】無料

【講座内容（予定）】

- 1 水の特性と重要性
 - ・身近な存在である水は他の液体に比べ、特異的な特性を持っている。水があるため、生命が維持され、生物が生存できる温暖な地球環境が創られている。水の特性や重要性、さらに文化的な意義について考える。
- 2 水の循環と人間活動の影響
 - ・雨として降った水は再び蒸発するなど循環を繰り返している。しかし、近年、森林の伐採や都市化などの影響により、水の循環のバランスが崩壊している。水の循環のバランスを取り戻すためにどうすれば良いか考える。
- 3 水資源と有効利用
 - ・私たち一人ひとりが利用できる水の量（水資源）には限りがあり、決して豊富ではない。限りある水資源を持続的・有効に利用することを考える。また仮想水の問題と課題について考える。
- 4 水質汚染と対策
 - ・水の汚れの大きな原因のひとつに生活雑排水がある。下水道の普及とともに河川などの水質は改善されてきたが、台所など家庭でできる雑排水対策も有効であり、それらについて考える。
- 5 酸性雨と生態系への影響
 - ・人間の活動により排出される窒素酸化物・硫黄酸化物は雨に溶けて酸性雨として地上に降下する。酸性雨の森林・土壌や湖沼など陸域生態系に与える影響と対策について考える。
- 6 多摩川・東京湾の現状と将来
 - ・多摩川が流入する東京湾の水質は1970年代には著しく悪化していたが、下水道の普及とともに水質は改善されてきた。これら水環境の変遷などの現状を知り、これからの姿について考える。

※上記講座内容は、予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【主催】美しい多摩川フォーラム

【共催】公益財団法人とうきゅう環境財団

美しい多摩川フォーラム